

2015

新春市民文芸

新春にあたり、俳句・短歌・川柳を募集したところ、俳句の部では678人の方から1,174句（うち小・中学生634人から1,046句）、短歌の部では36人の方から97首、川柳の部では30人の方から88句の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。

俳句の部は安楽岡寛氏、短歌の部は斎藤すみ子氏、川柳の部は曾田規世児氏に審査していただいた結果、次の皆さんが入選されました。おめでとうございます。

◆特選◆

海光の眩しき中を初電車

猿曳の一幅を掛け年迎ふ

海越へて教へ子よりの初便

東へ拓ける町や初景色

六万石城の礎初明り

神の田にどっと来ている初雀

女医として生きて米寿の年迎ふ

幸せな長寿給わり雑煮膳

稲荷山の句碑泰然と初明り

墨匂ふ硯の海の淑気かな

またひとつ齢重ねて御慶かな

てまりつくごと弾み来る初雀

忍野八海に佇ち初富士を間近にす

前掛を二枚重ねて牡蠣割女

研ぎ減りし関の庖丁齋打つ

早朝の産土神の淑気かな

注連縄の鮮やかなりしみどりかな

一山の木々も菩薩も春を待つ

俳句

熱池町 長村 道子

熊味町 蓮沼 健

駒場町 信川 芳枝

花蔵寺町 三浦 貞子

米野町 長谷 キヨ

下羽角町 濱嶋 君江

熊味町 浅井シヅ子

下永良町 榊原さちよ

米津町 沢戸 守

つくしが丘 古賀 敦子

永吉町 石川 英一

川口町 山本 絢子

駒場町 石川しづ子

米津町 沢戸美代子

和気町 犬塚 房江

平原町 名倉美枝子

下羽角町 石川 保一

駒場町 野澤 正治

俳句（小・中学生）

はつひの出まっかないろでげんきそう 三和小一年 名倉 清瑛

かるたとりしんかんせんのカードとる 鶴城小一年 鈴木 玲太

たこあげてばくもそらまでいきたいな 鶴城小一年 論田 稜太

こまさんはくるくるまわる大スター 鶴城小二年 磯貝祥太郎

はつ日の出あたらしいばくはじまるよ 米津小三年 省名 慶将

かがみもちみかんをのせて力持ち 鶴城小四年 板倉 憧歩

門松や松竹梅でえんぎいい 鶴城小四年 山本航汰朗

福引の当たりの鐘が鳴っている 八ッ面小六年 彌田 正明

かちかちと音が鳴ってる獅子舞だ 八ッ面小六年 中津留良太

お雑煮を食べて一年始まるよ 八ッ面小六年 村松 玲奈

初日の出明るい未来幕開けた 東部中一年 鴨下 恵人

初詣願いを込めて鳴らす鐘 東部中一年 半田 彩華

美しき富士山頂の初日の出 東部中一年 安部龍之介

新年の始まり告げる鐘の音 東部中二年 柴田 修治

三ヶ根の山から望む初日の出 東部中二年 長尾 亜紀

除夜の鐘年の終わりを告げる音 東部中二年 榊原 陽太

福寿草年の初めをにおわせる 東部中三年 小林 耀

除夜の鐘次の年への第一歩 東部中三年 黒柳 洸輔

短歌

◆特選◆

御料酒の銘は「白鷹」こもかぶり鏡開きを待つばかりなり

江原町 近藤 雅恵

柿若葉照り返す陽の漲りて完成間近きわが家耀う

楠村町 小島日出世

霜柱踏みて歩めば聞こえる齡重ねたしかなる音

中原町 藤井美智子

除夜詣で二人の老いが手をつなぐ迷わぬようにころばぬように

須田町 野崎 祐子

あらたしき年の幸ひ願ひつつ撞きたる鐘の余韻は長し

米津町 村上千オリ

底ごもる太鼓の音にはじまりぬ歳旦祭に願う良きこと

吉良町 小山 芳子

春耕の耕運機操作老婆の十二袴の地下足袋馴染む

野々宮町 川上 信子

年迎う注連も煮物も襷がけ新しき年静かに巡り

米津町 米津喜三子

挽ぎたての柚子をどっさり風呂に入れ香り聴きつつ手足伸ばせり

米津町 沢戸美代子

こぞり立ち土盛り上げて水仙は新年を待つ地下のいとなみ

天竹町 鈴木マツエ

老いふたり手に手を取って初詣生きる喜び神に感謝す

永吉町 石川 英一

春耕の鍬にピカリと初日射し背すじ伸ばして手を合はせたり

江原町 村松 覺

被災地に笑顔のもどる日を念じ力のかぎり除夜の鐘撞く

下羽角町 濱嶋 君江

火の山の積む雪に埋み年越える六人の魂に春早く来よ

下羽角町 石川 保一

御嶽の噴火伝える新聞に包まれて届く玉葱の苗

深池町 柘植 美苗

嫁道具の三面鏡に紅を引く昭和一の艶めく初春

米野町 長谷 キヨ

百鶴のお軸かざりて喜寿祝い米寿目指して決意あらたに

米津町 沢戸 守

戦争中戦後の苦難を糧として生涯学習学び続けむ

駒場町 浅井 喜好

川柳

◆特選◆

年金を仕分けて使うおらが春

下羽角町 濱嶋 君江

物忘れ嘆く頭のダイエット

中畑町 塩谷 直子

介護費を残すと誓い初日記

駒場町 信川 芳枝

鬱の日も友の電話で生き返る

下水良町 神原さちよ

三ヶ日明けて目方が気にかかる

丁田町 川口 實

初詣願ひ多すぎ仕分けする

東幡豆町 畔柳栄美子

初詣で先づ町内の神社より

桜町 太田 由美

初日の出裸で拝む露天風呂

住吉町 松川はるみ

元旦も二人揃ってくすり飲む

針曾根町 永谷ふみ子

置き忘れ思い出したり福笑い

貝吹町 磯貝きみ子

紅白のナツメロ恋し昭和つ子

住吉町 松川 勝弘

初日の出スマホに写し手を合わす

矢曾根町 佐藤 哲也

幸先を未に託す春の鈴

上矢田町 太田 妙子

賽銭の多寡に託した願い事

永吉町 石川 英一

今年こそ我が家に泊まれ宝船

道光寺町 黒部 政行

麦飯に沢庵儘よ八十才

和気町 犬塚 房江

初詣願ひひとつにまとまらず

江原町 村松 元彦

紅少し濃ゆめに引いて初写し

米津町 沢戸美代子